エンジニアパーク　Engineer Ring Park

阿部島直哉　水産部門（水産土木）

勤務先：株式会社クマシロシステム設計

私は、1973 年（昭和 48 年）に札幌市で生まれ、父が水産高校の教諭であったことから、岩手県の久慈市や北海道の厚岸町など、いわゆる「漁師まち」で幼少期を過ごしました。その後、高校進学を機に札幌市へ戻り、大学時代を札幌・函館で過ごした後、1998 年（平成 10 年）に現在の勤務先である株式会社クマシロシステム設計に入社いたしました。以来、約 9 年間、北海道の港湾・漁港部門の技術者として主に数値シミュレーションを用いた施設配置計画関連業務に携わっています。

さて、私が今の仕事へ興味を持ったのは、「漁師まち」で育ったことが少なからず影響しています。漁師の友人達と飲むと、聞こえてくるのは「厳しさ」、「つらさ」、「不安定さ」ばかりです。景気の良い話はなかなか聞こえてきません。それどころか、自分の子供達を漁師として継がせることにためらいを持っている話も聞き、寂しく感じることもあります。こういったことから、彼らの子供達が「漁師を継ぎたい!!」と思えるような環境を後世に残していけるよう、微力ながらお手伝いをしていきたいと思う気持ちが私の原動力なのかもしれません。

最後になりますが、私は平成 17 年度の試験で技術士資格を得ることができ、今まさに技術者としてのスタートラインに立ったところです。今後も自己研鑽に励み、北海道を支える水産業の発展に貢献していきたいと思います。

次号は、吉田　徹さん（水産部門）

木村　　篤　建設部門（都市計画）

勤務先：後志支庁産業振興部

私のいる羊蹄山麓地域、倶知安町ヒラフ地区では近年オーストラリア人スキー客が急増し、外国人投資家を中心としたコンドミニアムの建設ラッシュとなっています。日本人が海外の観光地で日本人村をつくるのと同じ状況が起こっているのです。おそらく日本では初めてのケースでしょう。大雪だった昨年暮れに屋根の落雪を皮切りに開発に伴う問題が吹き出し、解決に向けホテル関係者や地区住民による話し合いが何回も持たれました。倶知安町は乱開発に歯止めをかけるために急遽景観要綱を改正、昨年 4 月から地区の過半数の地権者の同意による建ぺい率や高さ規制を始めていますが、残念ながら法的な強制力がありません。一方、当地域では、地域経済を支える観光産業の基盤である地域の美しい景観を守り育てるために、4 年程前から景観づくりに取り組んできています。一昨年 8 月には 7 町村長で協議会を立ち上げて、知事に道条例に基づく「広域景観づくり推進地域」への指定（強制力無し）をお願いしましたが、その冬に上記の問題が起こったのです。協議会では、このような事態に強制力が必要ということになり、昨年 3 月の北海道で初めての推進地域指定と合わせ、景観行政団体である北海道に 7 町村への景観法の適用を要請しました。その甲斐あって、現在、北海道景観審議会において景観法適用に向けた議論が進められており、できるだけ早い時期に羊蹄山麓地域への適用を待ち望んでいるところです。私もこの渦中にあって、まさに地域が動いていることを感じながら仕事をさせていただいております。景観も地域がまとまれば力になります。

次号は、川嶋道彦さん（建設部門）